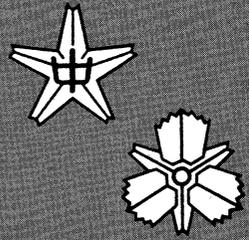
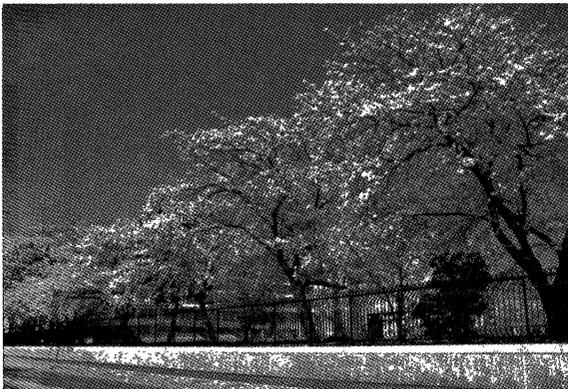




発行所
〒921
金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内
一泉同窓会
電話 (0762) 42-0211
FAX (0762) 42-0211
1997. 4. 21. 発行



泉丘高校校歌制定当初の楽譜 # 創立50周年を前に復元



「見はるかす加賀野の果てに…」と、詩情あふれる歌詞と明快な旋律の泉丘高校校歌は1991（昭和26）年に制定された。作詞は大沢衛（一中29期）、作曲・安藤芳亮（1949～65年本校に芸術教諭として在職）。かねてから「校歌の前奏に何となく違和感がある」という声や、100周年の一泉コーラスの練習の折、合唱の男声パートで「覚えていたものとは異なる」との音楽部OBの指摘があった。しかし泉丘高校には校歌の原譜はなく、確かめようがないままに日が過ぎた。

1996（平成8）年5月、東京で開かれた音楽部同窓会（泉丘14～18期）でも校歌が話題となった。この時の世話人の一人が今井あかねさん（泉丘16期）。今井さんは少女時代からピアノを安藤先生に師事、お母さんの写譜した楽譜でレッスンを受けていた。校歌の写譜も持っている。泉丘在学中、3年間はその楽譜で校歌の伴奏をしていたという。

泉丘高校校歌は、まずは斉唱として作曲（安藤先生手書きの原譜）され、次いでピアノ伴奏つき混声四部合唱（原譜を今井さんのお母さんが写譜したもの）として完成されたことが想定される。「ぜひ、安藤芳亮先生作曲のオリジナルの泉丘高校校歌を受け継いでほしい」と、昨年12月、写譜した校歌を携えて今井さんが代表して母校を訪れた。

中田修校長、音楽担当教諭の室山洋子さん（泉丘23期）らは、初めてオリジナルの校歌の楽譜を目にした。「今後はこの楽譜に基づいて、歌唱指導をしていきたい」（室山さん）と語っている。

奇しくも泉丘高校創立50周年を前にして、校歌制定当初の楽譜をあらためて手にしたことになる。

安藤 芳亮 作曲
大沢 衛 作詞

石川県立金沢泉丘高等学校 校歌

明快に

おとこ こしに
おとこ こしに
おとこ こしに

（楽譜は今井さん所有のもの）

泉丘創立50周年記念祭への 協力約し

＝平成8年度一泉総会盛大に＝

約320名を集めての平成8年度一泉同窓会ならびに懇親会は、例年のごとく10月15日、320名の出席を得て金沢市香林坊の東急ホテルで開催された。

総会に先立ち、午後3時から泉丘高校前庭の厳霜碑前で物故会員追悼式が行われ、同窓会役員・会員有志・学校教職員等多数が参列して物故者のご冥福を祈った。

午後6時からの総会においては川北篤会長（一中55期・一高）が「100年以上の年輪を刻んだわが一泉同窓会も泉丘高校となって50年の節目を迎えようとしております。来る平成10年の泉丘高校創立50周年を意義あるものとするため、同窓会は、学校側の行う創立記念祭に協力応援を惜しまない」という基本方針を提案し、了承された。

さらに中田修校長が母校の近況を報告、正村健三事務局長の一泉同窓会・一泉基金の収支決算報告がなされ、承認された。

懇親会は、金沢能楽会の藪俊彦氏（泉丘15期）他4名の格調高い能「羽衣」で開幕。このあと、



一泉合唱団による百周年記念歌「明日のI」のコーラス、川北会長の挨拶が続き、出席者の最長老吉田直茂氏（一中32期）の音頭で乾杯、なごやかな交歓風景となった。宴も進み、やがて全員が肩を組んでの校歌・応援歌の合唱で大いに盛り上がり、午後9時、乙村董副会長（一中55期）の閉会挨拶で、一泉同窓会の益々の発展と再会を約して終了した。

8年度は泉丘15、16、24、34期が幹事期となって会の準備・運営に当たった。1997（平成9）年の幹事期は泉丘16、17、25、35期の方々。

<気になる？政界一泉OBの動向>

10月20日の総選挙投票日を5日後に控え、中央、地方政界に広く活躍する一泉OBたちの格好の運動の場と見てか、会場には何人も政治記者の姿が…。取材チャンスをうかがってカメラを構えてはいたものの、そこは紳士淑女の集団。選挙関係者の出席は少なくなかったが目立った選挙運動はなく、スクープを目指した彼等の期待外れに終わったようだ。選挙の結果は、一泉OB2人がめでたく当選となった。

レストランスタジアム

ビアバーン

金沢市片町1-6-10プラザビル2F
TEL24-6788

ペーカリーレストラン

サンマルク金沢有松店

金沢市有松4-13-8
TEL80-3309

柿木 良一（泉丘7期）

金沢市議員

東出 文代（泉丘7期）

事務所 〒920金沢市香林坊1-2-40
TEL (0762) 32-1304
市議会社民党 〒920金沢市広坂1-1-1
議員団控室 TEL (0762) 20-2404
自宅 〒921金沢市窪2-362
TEL (0762) 42-7673
FAX (45-2341)

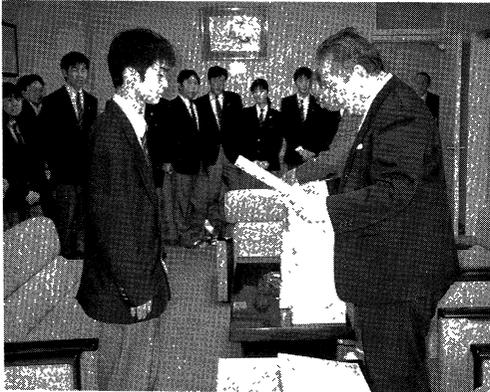
30名の努力たたえ

第3回一泉賞

今年は登山部と陸上部が突出

一中の「文武両道」と泉丘の「心身一如の発達につとめる」の校是に添い、一泉創立100周年の翌年、1994年度に一泉基金事業の一つとして発足した「一泉賞」。同賞は在学の3年間を通じて学習と課外活動を両立させた生徒を対象に選考を行い、各人の活躍を称えて贈られる。今年は、全日制29名、通信制1名が受賞した。

表彰式は、1997(平成9)年3月7日の卒業証書授与式に先立ち行われ、川北篤会長からそれぞれ表彰状と記念品が手渡された。3月16日(通信制)には、村本喜和子副会長が会長代理で表彰を行った。



☆第3回「一泉賞」受賞は次の皆さん

東祐子(陸上部)、宮田一英(陸上部)、堀哲朗(陸上部)、大野幸子(陸上部)、若狭真妃(陸上部)、安田小津江(陸上部)、藤田実代子(登山部)、松浦潤之介(登山部)、泉慎介(登山部)、今村泰範(登山部)、岡田和弘(テニス部)、中村允(野球部)、竹内聖乃(男子バスケット)、本田由香(女子バスケット)、倉又寛(ハンドボール)、上島千春(ソフトテニス

一泉同窓会基金
資産および事業内容

平成9年3月31日現在(単位千円)

財産目録	基本財産	
	百周年記念特別基金	40,000
	公益信託教育振興基金	50,000
	運用財産	2,698
	合計	92,698
平成8年度実施事業	一泉賞(表彰生徒数27名)	500
	教育振興・クラブ活動援助事業	
	女子バレー部用具購入	75
	登山部用具購入	23
	理科数科課題研究助成	200
	ソフトテニス部用具購入	12
	茶道部用具購入	38
	化学部器具購入	16
	書道部用具購入	36
	JRC海外協力助成	50
	国際交流活動助成事業	100
	その他助成事業	
	図書館図書費購入費用	120
	遠征用送迎バス買替積立資金	300
	通信制スポーツビデオ購入費用	30
	合計	1,500

一泉同窓会基金の上記事業費に事務費を加えた年間の所要資金は200万円程度が必要ですが、現行の金利水準では、運用収益による事業規模の維持が困難な状態になると予想され、基金事務局では募金窓口を常時開いて同窓生の皆様からの協力を持っています。

部)、西由郁子(卓球部)、横井匡(剣道部)、小森盛太(バドミントン)、林貴子(新聞部)、藤川直美(プラスバンド)、清水彩子(JRC)、宮下博行(鉄道研究同好会)、梅田聖美(地球科学部)、高岡有美子(放送部)、中尾綾子(放送部)、松本義法(ホーム役員)、長谷川太裕(ホーム役員)、宮下明珠(ホーム役員)、田中昌枝(通信制・生徒会役員) 以上30名

高橋耳鼻いんこう科

院長 高橋 三郎(泉丘7期)

金沢市増泉3-7-18

TEL (0762) 45-3387(代)

割烹・活川魚

お か 重

岡谷 真一(泉丘7期)

岡谷 外茂子(泉丘8期)

金沢・柿木島
電話 (代)31-4760・64-4070
FAX 31-4761

“特別の式典行うよりも
在校生との交流行事や
一泉行列の参加を”
＝泉丘創立50周年への諸提案＝
一泉 OB アンケートから

泉丘高等学校が創立されてから半世紀。1998(平成10)年に創立50周年を迎える。1996(平成8)年9月7日に開かれた代表委員会の席上、各期委員に50周年に関するアンケートをお願いした結果を紹介し、さらなる同窓生各位のご意見をお寄せ下さい。

- * 一泉同窓会自体として特別の式典を行わず、従来の9月の学校記念祭の後押し、協賛など。
- * 泉丘高校として大袈裟な50周年記念はしないと聞いており、同窓会もそれに合わすべき。主体は学校に置き、同窓会は協力する形で。
- * できれば在校生に紅白の饅頭または記念品を配ったらどうか。
- * OBに「一泉行列」への参加を呼びかける。日曜に実施し多数の参加を得る。これに要する費用を同窓会が援助。
- * 創立記念日にささやかな節づけ程度でよい。
- * 同窓会の負担で音楽祭や講演会を行う(指揮や講師は一泉OB)。
- * 生徒美術部と桜美会の共催で美術展を開く。
- * OBと在校生のスポーツ交歓試合を希望。
- * OB、在校生、教職員で演劇祭を行う。
- * アジア各国の高校生とインターネットを用いてテレビ討論会を催し、多様な考え方を知る。
- * 「泉丘50周年のあゆみ」(仮題)アルバム作成。できれば50年の歩み展を。
- * 何かモニュメントを残したい。例えば一中・泉丘同窓会の合併にご尽力された故山本外吉校長の胸像を建ててはどうか。
- * 一泉文庫の充実を図ってほしい。
- * 全国にいる一泉同窓会会員から年額1,000円程度の会費を徴収したらどうか。
- * 機関紙『一泉』の充実。

◆通信制創立50周年

記念事業について

石川県内で唯一つの泉丘高校通信制過程は、1948(昭和23)年金沢第一高等学校発足と同時に併設され、向学心に燃えた勤労者が、いつでも、どこでも、だれでも学べる学び舎として、半世紀の歴史を歩んできた。

1996(平成8)年6月15日、通信制振興会総会に於いて50周年を記念し、今後の発展を期して、通信制独自で、記念事業をすることを決定した。記念事業は通信制同窓会、振興会、学校(通信制過程)の三者共同で主催することを確認した。実行委員長には村本喜和子一泉同窓会副会長(28期)が満場一致で推挙され、通信制同窓会より23名、学校より5名の方に委員を委属した。50周年記念事業実行委員会が8月3日に発足し、今日までに3回の打ち合わせ会と2回の実行委員会を持ち、次のような事業の骨格が出来上がった。

☆記念事業実施期日—1998(平成10)年10月10日

☆実施事業と事業担当者

- ①記念式典(通信制教頭)
- ②記念講演(村本喜和子)
- ③記念碑建立、記念植樹(釜谷鉄山9期)
- ④記念パーティ(名木栄一郎32期)
- ⑤記念誌刊行、同窓会名簿発行(吉田陸明26期)
- ⑥記念ビデオ編集(名木栄一郎)
- ⑦記念品贈呈(学校・参加者)(村本喜和子)
- ⑧募金、協賛金運動(木村登8期)

一泉同窓会のご協力を心よりお願い申し上げます。



校庭の
ケンロックエンキクザクラ

総合食品

(株) タ マ エ

寺 西 栄 一 (泉丘7期)

本社 金沢市千日町1番7号
TEL (0762) 41-7417(代)
◇福井営業所/福井市西方2丁目2608
TEL (0776) 27-7670
◇富山営業所/富山市白銀町5番25号
TEL (0764) 21-0369

川魚・山菜料理
白山さん境内

わ た や
和 田 屋

和 田 英 夫 (泉丘7期)

〒920-21
石川郡鶴来町三ノ宮イ55-2
TEL (07619) 2-0570(代)

「思い出の先生に会おう」
を合言葉に220名が集う
【関東一泉同窓会平成8年度総会】



平成8年の関東一泉総会は『思い出の先生に会おう』・『思い出の校舎』というテーマで11月1日サンケイ会館で開催された。幹事期(泉丘17期)に関係の深い楠禎一郎、松川一雄、柳田勇、安高徹先生のご出席をいただいた。

2500通を越える返信はがきには、昭和の初めから平成に至るまでの先生方の膨大なエピソードやニックネームなどが記されていた。その行間から伺えることは、15年戦争、敗戦、経済の高度成長……と社会の大変動の時代にもかかわらず、先生と生徒との人間味あふれる師弟関係は、いささかも変わることがなかったということであった。先生の一言が人生の原点になったという人もいた。ただ不思議なことには、70年の推移の中で、当初はほんの例外を除き、校長先生はもちろん全先生にニックネームがつけられていた。ところが昭和50年代頃からはその風習が消え始めたようである。

なお総会出席者は220名を越え、山岸幹事長以下の努力と創意で有意義に進行し、盛会であった。

【若人を交えて交歓

関西一泉同窓会第16回総会】

平成8年6月1日(6月第一土曜日)、関西一泉同窓会第16回総会が、前年と同じ会場、(パノラマレストラン・アサヒ)で盛大に開催され、過去最多の154名の出席者があった。

金沢の本部から中田修校長をはじめ、前年勲四等瑞宝章を受賞された西野哲也先生、正村健三事務局長の参列も得て、なごやかな一時を過ごした。

関西一泉同窓会長の柚木学氏(関西学院大学学長・一中54期)は、当日金沢出張のためあいにく



欠席されたが、今年は例年になく、泉丘44、45、46期の若い大学生諸君が大挙して計16名(内女子12名)も参加してくれたので、会場には若々しい雰囲気や盛り、宴たけなわのところでこれら学生諸君に一人ずつ簡単に自己紹介をしてもらった。

また、懐かしい郷土の味、ごりの佃煮や芝苺などの景品が抽選により当たり、喜ぶ姿も見られた。

総会がお開きになった後は、北の新地に場所を移しての二次会にも多数が集まり、勢いに乗った人達は三次会へと散っていきました。

来年度も6月7日の第一土曜日に開催の予定であり、若い諸君の多数の参加を期待しています。

(泉丘13期 元地健)

金原亭伯楽、馬治師匠の
落語で盛り上がる
【第15回 松任一泉同窓会総会】

平成8年度第15回松任一泉同窓会は、10月18日(金)新装なった「グランドホテル松任」で川北一泉同窓会会長も出席し、開催された。「一泉寄席」と銘打ったアトラクションは金原亭伯楽さんと、馬治さんと、真打二人の嘶に一同笑い転げた。また後半のビンゴゲームでも、景品に歓声が沸くなど、楽しい一時を過ごした。100名を越える出席があったのは今回が初めてであった。『グランドホテル松任』は松任市の中央部に、平成8年9月オープンしたシティホテルで、松任一泉同窓会会長板尾達雄氏(一中54期)の経営である。



現代写真スタジオ

【各種】	【各種】
証明/肖像	カメラ・カラープリント
記念/婚礼	ビデオ・ビデオテープ
建築/出張写真	

広見カメラ

加茂正則(泉丘7期)

金沢・野町3-15-14
TEL (0762) 41-1380(代)
FAX (0762) 41-1445

北菱電興株式会社

電気機械・省力器具製造販売卸販売
並びに電気工事・給排水・衛生冷暖房
・冷凍・エレベーター工事設計施工

小倉 周一郎(泉丘7期)
水谷 昭(泉丘7期)

金沢市古府3-12
TEL (0762) 69-8500
FAX (0762) 69-8501

同窓生の集い

【一中39期(昭和7年卒業)七桜会大会】

日増しに秋も深まり金木厚の香漂う平成8年10月4日、七桜会の全国大会を開催した。秋晴れのこの日香林坊大和裏の一中応援旗翻る迎いのバスのもとに集まる。久しぶりの再会で、お互い「元気か」の短い言葉の中にも感激の情切なるものがある。来年3月は卒業65周年に当たる。あの入学の日は桜が満開で我々を迎えてくれた。青春の意気に燃えた若人も今や八十路を越え白髪禿頭の老境に入り「老いて悔いなし」自適の余生を送っている。

同期の卒業生180名であったが現在48名しか消息が分かっていない。122名の学友が幽明境を異にしている。心から冥福を祈る。また体調を崩している学友も多数いる。良くなって欲しい。今日は18名の学友が出席してくれた。この喜びは幸せで言葉に表せない。この度は瓜生君がオーストリア、ウイーンより久々に出席され唯々感激の至りである。

14時30分バスは出発。途中本多が森桜章校跡に着き往時を偲び、更に泉丘高校嚴霜碑に詣でる。嚴霜烈日殉難者の遺訓を偲び黙禱を捧げる。これよりバスは収穫の終わった加賀路を一路辰の口温泉「まつさき」へと進む。歓迎金沢一中七桜会の看板に迎えられる室に入り旅装を解く。一浴の後一中校旗をバックに記念写真を撮る。皆の顔は元気に出席できた感激で一杯である。これより懇親会に入り秋の味覚料理に舌鼓を打ち楽しい集いは一中時代の話絶頂。時の経つのも知らず、老生益々青春に帰り、校歌応援歌と愈々興に入り、一中スピリット満ちあふれる中、金沢一中・泉丘高校万歳を三唱し宴を閉じる。

往年の全権大使、大学教授、会社社長、病院長お役人……etc. この席は完全に一中健児に還っていて「あだ名」で呼び合った在校時代の懐かしい思い出になる。各室に三々五々帰ったが仲々眠りにつけず話に耽る。いつの間にか松籟の音を聞いているうちに眠りにつき第一日は終る。第2日は記念の八十路の「寄せ書き」をして、瓜生君のウイーン四方山話を聞き、後ろ

髪引かれる思いの中、10時「まつさき」に別れ、途中先端大学辰の口丘陵公園を回り一路金沢へ。

11時30分片町北間楼に着き、お別れ昼食会を開く。楽しい一時を過ごし、互いに固き握手をしてみたの会える日に希をかけて別れる。七桜会健児に幸多かれと祈念して乱筆を止める。(山瀬記)



【一中41期(昭和9年卒業)同期生会】

10月15日。言わずと知れた母校の創立記念日であります。それを横目に集まった片山津温泉「せきや」の集いは何とも味の深いものでした。名にし負うプランナーであるミンコ(南)のセッティングとコーディネイトが見事に結実した久遠の友情を確かめあった会でした。

出席14名、各人持ちよった各地の銘菓9種、同宿の同期生未亡人とその御弟子さんによる小唄と舞のアトラクション、聲雲亭での御茶会、陽月の饗宴、看護婦さん付き添い等々。

越田章二、重田周蔵、清水五兵衛、田中喜良、平石英雄、三浦繁雄、英勝雄、南秀男、八十島健二、山口社義、西田成好、野崎外喜男、番幸次、登恵弐

(H₂O生記)

【関東一中43期会(昭和11年卒業)】

10月23日八重洲口地下の椿山荘に於いて京都よ



越島久弥法律事務所

弁護士 越島久弥
(泉丘8期)

金沢市尾張町1-9-11 尾張町レジデンス203
TEL (0762) 22-1213

株式会社 矢野工作所

金属工業

社長 矢野精一
(泉丘8期)

金沢市野町4-5-22
TEL (0762) 43-4477

り参加の長岡氏を迎え、8月に傘寿を目前に急逝した
当会の世話役であった中林二郎君の冥福を祈り河毛
二郎君(関東一泉同窓会長)以下8名が集まり思い
出話や消息話に楽しく語り合いました。

出席者 河毛二郎・谷山巖・長岡寛厚・野村誠夫・橋
場堅・松林理彦・藤田正辰・吉村清三

【一中47期(昭和15年卒業)十五桜会総会】

昨年4月の十五桜会は有馬温泉で開催する予定
であったが、突然の大震災のために、開催不能となり、
桜咲く母校へ集まり、粟津温泉で開催の運びとなっ
た。

今年は関西の木村和義、元田隆両君の努力により
復興の神戸有馬温泉で開催することができた。寒い
春で有馬の桜は蕾であった。車窓から見た神戸の姿
は余りにも痛々しく家が消失したための空き地が多く、
ビルや家の補修工事がどんどん進んでいるようであ
ったが、特に仮設住宅を壊している姿が見えた時に、そ
こに住んでいた被災者は今どこへ移ったのだろうか
と、特に高齢者は苦勞したことだろうと、思いを走らせ
た。

当初30名の出席予定が病気その他で10名減の20
名になったが、一年ぶりに会え懐かしさの余り話は尽
きないようであった。

平均73才の同期生は毎年減少して一中入学時200
名であったのに、現在連絡のつく者は遂に100名を割
って殆どの者が一病息災で、気持ちは一中時代と変
わらぬが体力の衰えを感じている。

関西の木村和義、元田隆、前川伸、木村博、今井晋
の五君から大震災の生々しい話を聞かされ、「神戸は
今まで地震の無いところといわれていたが、大地震の
あまりない金沢も危ないよ」と異口同音に言われた。

来年は金沢で十五桜会同窓会を開催することに決



中村吉輝法律事務所

所長 中村吉輝
弁護士 (泉丘8期)

金沢市橋場町1-29
TEL (0762) 62-3823

定した。出席者は次のとおり。

[関西] 今井晋、木村和義、木村博、前川伸、元田隆、
[関東] 池保、池田亥左夫、太島金治、深見信一、福岡
二郎、山口尚三、[北陸] 飯田久、大蔵吉夫、大谷涉、
大屋信之、金崎肇、木村茂男、島村隆、縄野茂信、三
須徹 (大蔵吉夫記)

【一中51期(昭和19年卒業)一櫻会総会】

『櫻章健児-五十一期生の記録』 -古稀記念誌-

1939(昭和14)年入学、昭和19年2月卒業と
いえば、太平洋戦争のさなかに金沢一中生を過
した人達の記録である。難関の陸軍士官学校合
格数が52期と合わせ、日本一だと言われた学年
である。

その戦時色強まる学校生活にもかかわらず、ひ
たすら、本業の英語の授業も時には脇において、
音楽で生徒に影響を与え続けた先生の話があ
る。あるいは厳しい上意下達の軍国主義教育にも
かかわらず、敢然と先生の理不尽さや圧力に抗
議する生徒の話が出てくる。歴史は常に多面多
様であって、後世から一筋縄で解釈することが
できない。そういう雰囲気を感じさせてくれるのが
この記録である。

□1996(平成8)年10月25日、湯涌温泉秀邦閣で古
稀記念同窓会を盛大に開催した。



【泉丘6期(昭和29年卒業)ふくせん会】

ホノルルの夜空に校歌高らかに響きて

打ち上げ夕食はにぎやかな笑いと声と乾杯に始ま
り、買い物のおぼれ、オプションツアーのエピソード、い
つにない夫婦の語りにははずんだ。宴たけなわ、指名

救急
労災指定 細川整形外科医院
整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

院長 細川 外喜男
(泉丘8期)

金沢市笠舞本町1-6-23.
TEL (0762) 32-0600

がかかり幹事を代表してTがスピーチを始めた。「エー、足掛け3年の念願かないふくせん会員還暦記念旅行がここに無事…」絶句、しばし立ちつくした後、感極まったのか涙声で語り出した。特大の男の泣く姿も。絵になるなあと思いつつも、拍手と野次で何とか段落…。誰言うともなく、起立し校歌斉唱、カ一杯歌った。目頭を熱くして18才の昔甲子園出場を決めた桜丘戦の勝利の時のように。

思えば6月14日むし暑い午後金沢駅西に三々五々皆が集まってきた。カラフルなバッグ、粋なスタイル平常お目にかかれぬ笑みを満面に浮かべて。バスは一路名古屋空港へ「出発」百万石祭りを尻目に総勢30人と不安も期待も一緒に積めて。

免税店は安いと聞いていたが、キャビンマイルドが800円も安いとは。何だか嬉しくなった。それにしても毎日税金を吸っていたんだなあ。

7時間余の空中は不安だ。でも皆の手前平気を装う。機内食にワインを二本飲んでいながら何だか気持ち軽くなり、いつの間にか眠り出したようだ。

パスポートを管理局職員に提示、即OKとなるはずなのに一人だけ「待た」がかかった。「写真と実物」が違うというのだ。なる程写真は昔のもの、今の顔には何か傷跡がある。さすが着眼は鋭い。いや待てよFは遊び人風だし、組織の一員と間違えられたのだろうか。いずれにしても、色は違っても見る目は同じだなあ!

「チュー」なしのレイをかけてもらい待つことしばし、お迎えのバスは禁煙車、ハメハメハ大王の像を横目にヌアス・バリ、パンチボールの丘、イオラニ宮殿で記念撮影、それにしても熱いなあ!

ホテルの部屋でシャワーを浴び、衣服を整え、ディナーセールに出かける。クイーンメリーならぬ豪華船で?ダイナミックなハワイヤンショーに見とれ、料理をばくつく。ジャパニーズ向けのサービス、炭坑節のリズムに酔ったあげく、(美しく色は黒いが南洋じゃ美人のくちではありませんぞ)ショウガールに誘われて、ハワイアングダンスのステップの手ほどきを受ける。あせびっしょり、でもさわやかな気分。

添乗員から手渡された朝食券を手に食堂をさがす、やはりみそ汁はうまい。今日は自由行動、ホテル前からワゴン車に混載されゴルフ場へ向かう。

大枚210ドルを投じてだ。手持ちの札をはたいてシューズを借り、ボールを買う。ボール3個で12ドルだとい

う。同伴のTは6ドルだった。どうして?(後で聞いた話だが現地人は割安とのこと)Tはポリネシアと間違えられた?当方だっで一見インドネシア風なのに、差別だなあ!セルフのゴルフも乙なもの、美人のパートナーのご好意によるボールもあえなく池の中。コイの野郎、ニューボールを見てへたくその一言。

夕食は昨日のスシ店で、上鮫を気張った。2本の銚子にもとの自分に立ち戻り1万円をカウンターに、ハワイの女性もスシは大好き、カッパを持ち帰るヤングレディに娘の姿を見る。

「アラ・モアナ」ショッピングセンター、何しろ広い大きい、テナント数は何と280とのこと、デイスカウント店からシャネル、セリーヌ、フェラガモクラスまで商品が山のよう。折しもセール期間中で老若女性で界限は大にぎわい、男の買い物は1,000円の野球帽、1ヶ200円のゴルフボール1ダース、元々デパート廻りの苦手な男に構わず、足取りも軽く女は次から次へとウインドウを覗き込む、ああくたびれた!

泊まりを重ねること5日、いよいよ最後の夜を迎えた。テーブルについた皆の服装がちよっと違わず、さすが紳士淑女、それぞれに選んだシャツ現地調達のアクセサリーで着飾っておられる。

ワインで乾杯、やがてTが立ち上がりご挨拶となった。言葉に詰まりそして涙、「見はるかす加賀野の果てに日本海青くかざろう…、若人の魂をとかして…」

かくしてホノルルの夜空に金沢の空まで届けとばかり歓声が響きわたったのである。故大沢衛先生もさぞかし天国でビックリしておられることだろう。アロハ!(本文は出来事の一部をご紹介したもので、続編は又の機会とさせて頂こう) (村上信吉記)



株式会社 あづま 酒店

酒類販売

社 長 東 正 一

(泉丘8期)

金沢市中央通町7-20
TEL (0762) 31-3387

有限会社 かわの 徽章堂

バッジ・カップ・トロフィー・楯・旗
記念品製作販売

社 長 河 野 外代治

(泉丘8期)

金沢市新登町3-77
TEL (0762) 32-2001

【泉丘18期(昭和41年卒業)おほこ会総会】

18期の同窓会(おほこ会)卒業30年パーティが、去る8月11日ガーデンホテル金沢で開催された。それまでのクラス会の枠を外し、18期卒業生の合同懇親会として、昭和54年に最初のパーティを催してから、凡そ3年毎のイベントは7度目を迎えて、今回は丁度30年、しかも四十路も最後という節目の記念パーティとなった。

我々は、毎回この席に3年次のホーム担任であった先生をお呼びしていたのだが、残念ながら、近年恩師の訃報が続いており、その為今回から1、2年次にお世話になった先生方にもご案内することとした。当夜は11名の恩師がご出席され、県内外から参集した仲間も120名となった。取り分け今回初めて懐かしい顔を覗かせた遠方の友、さらに同期生同士の夫婦組も仲よく参加してくれ喜ばしい限りであった。

パーティは、当会場Gホテルの総支配人である石田憲二君から多分なサービスと、宴席ではまさにうってつけ宮村君の軽妙な司会によって、記念に相応しい盛り上がりを見た。

今も有数の進学校校長に就いておられたり、今度は大学で教授されるかつての恩師、それに現役を退かれてもまだまだ業界の重鎮としてご活躍中の先生方。むしろ我々よりもはるかに元気で、そうした皆様の近況をお聞きしたが、「やはり先生、そこは先生である」お一人お一人話される言葉に永年培った貴重な経験と人生観が含蓄されており、従って、我々は30年前の教室で授業を受けているような郷愁を覚え、剩意意志薄弱な身に発破をかけられる始末であった。師から見れば我々は相変わらずの若輩であり、何時までも手の掛かるひよこ同然なのだろう。

当時を偲び、昔話に花を咲かせた数時間、和気

藹々の酒宴は瞬くうちに予定の時間を経過した。やがて一次会のフィナーレは、笠間啓君の音頭により一同で泉丘校歌を斉唱。そこで今回の世話人代表を務めた新村康二君から、次回の代表川合明子さんへと、幹事長役のバトンが引き継がれた。

そうして3年後の再開を固く約束した我が期の面々は、酔い冷めやらぬ赤ら顔を携えつつ、まだそれでも飽き足らないと、二次会の設営会場へ散ったのである。(荒磯千舟記)

【泉丘高校音楽部特別部会(14期~18期)】

1996(平成8)年5月16日赤坂東急ホテルで泉丘高校音楽部特別部会(14~18期)を開催した。34年ものブランクが一瞬にして埋まったこの日、私たち幹事三人は感動で胸が震えました。

案内状を郵送した頃はこんなに多数参加して頂けるとは……まして金沢からこんなに来ていただけるとは……思いもませんでした。

人生の「第一楽章」に泉丘で夢のような楽しいときを共に過ごした仲間と、高武夫(14期・'96年12月死亡)さんのお言葉にありましたように「第三楽章」のはじめにこんな素晴らしいひとときを持つことができ感謝の気持ちで一杯です。

今ほど高校時代の同じ想いを共にする仲間がたくさんいることを幸せに感じたことはありません。これをきっかけに、末長く、いい仲間として高校時代以上のおつきあいが始まることを願ってやみません。

幹事(16期)

- 杉本 公松
- 吉井 敏美(金谷)
- 今井あかね(小竹)



株式会社 伏 見 園

造園設計・施工・貸植木

社長 田 中 一 郎

(泉丘8期)

金沢市米泉町1-37
TEL (0762) 41-4746

8億年ビル 有限会社 蓮 月

社長 鈴 木 一 男

(泉丘8期)

金沢市片町1-11-5
TEL (0762) 62-0188

弓道部復活—道場建設を請願—

1900(明治33)年発行の金沢一中の『校友会誌』によると、開校7年目のこの年、第1回校内弓術大会が開かれている。以後、当時弓術部と呼ばれた弓道部の活動が続き昭和に入ると北陸大会で何度も制覇する程の武道の名門部になった。

1945年の敗戦によって中断してしまっただが、その復活を熱望された一中42期高島有幸、49期石田直行(OB会会長)、50期山岸春生、同山形周一郎氏らの熱意により、一泉百周年を機に、先ず中学で経験のある生徒を核に校内の同好会として発足した。先輩たちは、校内に練習場がないので、寺地の郵政省の研修所を間借りし熱心に孫のような後輩たちを指導されて来た。

1996(平成8)年には、部員数が32名に達し、生徒議会の承認によって4月より部に昇格した。部として本格的な活動ともなれば、欲しいのは毎日遠慮なく稽古練成できる校内の練習場。そこで、OB会は5月と9月、二度にわたって中田中学校長と川北同窓会長に、県教育委員会へ働きかけてくれるよう「道場再建」の請願書を提出した。県当局は、「他校からも要請が出ている。対策を考えている最中だ」との返事を得た。戦前の日本武道3部のうち、剣道・柔道はすでに道場を持っているのだから、弓道も当然あるべきものであろう。同窓生諸氏の側面からの応援もお願いしたい。

OB会は下記のような助成も行なっている。

- ①弓矢、諸弓具の購入……8万円
- ②指導上の諸費用………3万円
- ③道場借用謝礼………4万円
- ④石田会長個人寄贈………弓矢、諸弓具



訪れてみませんか! 金田心象書道美術館

北海道JR宗谷本線幌延駅より徒歩5分間の地に、1990(平成2)年建設の幌延町営金田心象書道美術館がある。金田先生の作品を約1,200点所蔵し展示している。

金田先生は1907(明治40)年生れで、若き頃、1930(昭和5)年5月より1934(昭和9)年3月まで金沢一中で教鞭をとられた人である。金沢一中書道部を創設され、太平洋戦争中本校の書道教諭で現在東京で活躍中の氷田作治先生(一中42期)は、金田先生の熱心な指導を受けた。現泉丘高校の書道教諭中山秋水先生も直接のお弟子さんである。

心象舎主催の書展「太陽」は毎年金沢でも開催されるが、金田先生の作品は3点づつ展示されることになっている。今年は「いの千」「浄裸々」「くず」が出品された。

先生はその後日展での活動等で一流を成され、1990(平成2)年に82歳の長寿を全うされた。



平成8年度関東一泉同窓会

〜「思い出の先生」のアンケートから〜

<武藤真先生>(一中・泉丘在職) 国漢担当、ニックネームはイナゴ、国民服を着て、丸い眼鏡をかけていらっしゃる、何から何まで目に焼き付いています。万葉集の講義が素晴らしいものでした。「風呂敷は非常に便利なものだ。小さく畳めて、どんな大きなものでもどんな形のものでも包める」「軒端がなくて雨宿りのできない建築はつまらない」というご教訓を覚えています。

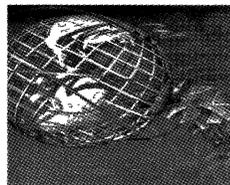
泉丘6期H、14期D、8期S、10期M

藤田真理企画展

藤田真理(泉丘20期・神奈川県在住)さんは企画展の声がかり下記のような活躍です。応援してあげてください。

(泉丘20期中川敏明投稿)

- ◇銀座小野画廊企画展
(平成9年10月20日~25日)
- ◇CAFグループ展・埼玉県立美術館
(平成9年11月11日~16日)
- ◇大阪・ABCギャラリー企画展
(平成10年3月20日~4月1日)



一中の大先輩杉森久英氏を悼む

明治の人物伝や政財界裏面史を独自の話法で語った人に伊藤痴遊がある。伊藤痴遊全集正統30巻の刊行にかかわった作家の村松梢風も明治を中心に人物伝や各界裏面史で活躍した。その梢風が1961年に亡くなると、入れ代わるように1962年上期の直木賞を受賞して登場した杉森久英さん。

杉森さんは明治に続く大正、昭和の人物評伝を手がけて見る見るうちに地歩を築く。あの東条英機の評伝を書けば勝子夫人から感謝の手紙が舞い込むといったあんばい。杉森さんの筆は徹底した取材と入念な気配り、それに何よりも生得のものと言うべきバランス感覚に裏打ちされていたからだ。

このほど平成9年1月20日午後零時50分、東京の病院で逝去された。84歳。昭和3年金沢一中4年修了、第36回同期生でいらっしゃる。

もともとの生まれも育ちも現在の七尾市。七尾市は早く杉森久英文学館が資料館を建てて欲

しい。

冒頭に記した伊藤痴遊の遺した資料5万点は現在は「痴遊文庫」となってNHKに移管されているし、ノンフィクション・クラブ等で杉森さんと親交のあった大宅壮一の蔵書も「大宅文庫」として公開され天下に名高い……。

直木賞受賞以前の杉森さんについて。

戦前、戦中は中央公論や大政翼賛会など我が国言論の中核でお仕事をなさった。戦後は雑誌『文芸』編集長として戦後文学誕生の現場でお仕事をなさった。しかも常に一步も二歩も身を引いて周囲への配慮を大切にいらっしゃる。同じく能登出身、保守本流政権での益谷秀次氏や保守傍流政権での坂本三十次氏のありかたにおもう。能登の風土のはぐくんだ気質であるう。

『文芸』編集長のあとの昭和25年、杉森さんは北海道大学国文科教授にとの話をおこわりになった。歴史にイフは無いというが別の機会に考えてみたい。

泉丘4期 相坂一成 (投稿)

シューベルト全作品目録

一中41期 平石英雄

私は平成8年8月一冊の本を上梓しました。

内容は、1997年の一月末に生誕200年を迎える作曲家シューベルトの全作品の目録です。読んで面白いとか、誰にでも興味のある本ではなく一種の資料集で作品辞典とでもいったらいいでしょうか。

私が小学校から中学校へ入る幼年時代に、二人の兄がヴァイオリンやマンドリンで聞かせて呉れた幾つかのシューベルトの曲が頭にこびりついていて、昭和30年頃からノートを取り出し嵩高に申せば以来40年ほどかけて漸く纏めた本です。

シューベルトの全作品は、31才で若死にしたのに並外れて多作で、しかもノンキな性格だったので作品がムタムタになったり、半分作りかけのものになったものが意外に多く、全体像を掴むのに苦勞の多い作曲家の一人です。

若い頃から私はシューベルトが好きだったし、色々その作品を知り度かったので、作品目録の全

表を作り度いと永い間思っていました。

イギリスで出版された有名なグロブ辞典や20年ほど前にドイツで出たオットー・ドイッチの本などを参考にして纏めたのが今度上梓した一冊です。

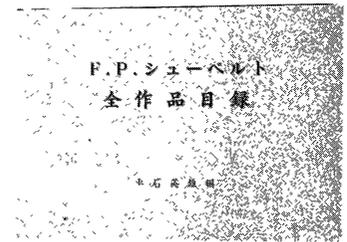
シューベルトの作品を研究する人には役に立つでしょう。その理由は、不思議なことに日本では補遺表までを含んだ全作品の目録は、今迄出版されていなかったからです。

この有名で人々によく知られている作曲家なのにこのような盲点のあったという事は信じられない程です。

※これは現在ドイツ語翻訳の話が出ています。
※非売品であります。内容はインターネット下記のホームページに入っています。

<http://www.bekkoame.or.jp/>

~nakatac/schubert/



平成8年度 一泉文庫寄贈・購入本

杉森 久英 (一中36期)	塙の中のおろぎ・間違いだらけの 日本・天皇の料理番・新渡戸稲造・ 昭和の怪物たち・大政翼賛会前後・ 杉森久英(石川県近代文学全集6) ・ニッポン人を叱る・一癖齋直言・ アラビア太郎
相坂一成寄贈 (泉丘4期)	
高橋サブロー (泉丘7期)	山と海の誌—我が心の山岳遍歴—
水上 七雄 (一中39期)	[二十世紀日本の断章2冊—大正・ 昭和・平成私記][戦後三十年の戦い— 日本社会党・京都三十年史][曠野 の果てに—満洲開拓の証言][大興安 嶺の落日—満洲開拓史・南ヶ丘牧場 前史]
平石英雄寄贈 (一中41期)	[ゲリラ將軍—異色の武人・土田兵 吾(一中20期)の生涯]
朝比賀昇 <小林司> (一中53期)	エスペラント運動の展望—共著 PERSPECTIVO SER LA ESPERANTO—MOVADO
一中46期 クラス会事務局	蔵霜手帳—一中46期同期会誌— No.5—各3冊・No.6—各3冊
片瀬貴文 (一中55期)	おやじの歩いた地球
伊東千佳子 <旧姓—西川> (泉丘17期)	発信くらしの中から <北国文芸叢書>
戸部新十郎 (一中51期)	[秘剣—龍牙]・[忍者と忍術] [乱世の武将秘伝の処世術]
平石英雄編 (一中41期)	F. Pシューベルト—全作品目録
宮川 隆泰 (一中54期)	岩崎小彌太(中公新書)
溪内 謙 (一中48期)	現代社会主義を考える(岩波新書) 現代史を学ぶ(岩波新書)
一桜会 (一中51期)	[桜章健児・五十一期生の記録] —同期会誌—
一中54期同期会	[朱木第6号—同期会誌—]
越田 昭 (泉丘17期)	グッバイ五十肩 —家庭でできる整体術—
田辺 建夫 (一中52期)	田辺建夫講演集
野田 茂 (一中41期)	歌集シテイハウス
中島桂三 (泉丘5期)	ワカ°ミのこことば辞典
鷹羽狩行<小林毅> (泉丘通信6期)	句集—[鹿しか]
小竹文夫(一中25期) 小竹武夫(一中30期) 共訳	司馬遷[史記] 今井あかね(泉丘16期)寄贈
東野昭子 (泉丘10期)	句集—[青山椒]
大河寥寥<大河良一> (一中26期)	加能俳諧史
三津野真澄 (本校教諭)	コロンビア住んで教えて

予 告

- 泉丘10期卒業40年記念総会
8月1日(金)、辰口温泉たがわ龍泉閣
- 泉丘25期卒業25年記念総会
8月14日(木)、ニューグランドホテル
- 関西一泉総会
6月7日(土) 14:00~17:00
パノラマビアレストラン・アサヒ(松下IMFビル26階)
- 一泉総会
10月15日(水)、18:00
金沢駅前金沢全日空ホテル
- 関東一泉総会
10月31日(金)、18:00
新宿ハイアットリージェンシーホテル

桜美会本年予定

- ◇総会
5月16日(金)、池田町ファーストホテル
- ◇小品展
5月15日~20日
北陸電力プラザエルフ(下本多町)
- ◇展覧会 香林坊大和
- ◇スケッチ旅行 10月18(土)~19(日)

編集後記

「一泉文庫」は年々歳々充実。特に年を感じさせない一中先輩方の旺盛な執筆活動には感嘆するばかりである。図書館閲覧室の100周年の時に準備した「一泉文庫」用の書棚は嬉しいことにスペースが足りなくなった。在校生はまだ「一泉文庫」のことをよく知らないようだ。創立記念祭などで展示してアピールしていきたい。

関東一泉総会通知の返信はがきに記入された恩師の膨大なエピソードがある。関東の総会の「しおり」に紹介されていたが、一部に過ぎず、「しおり」編集子は記事の選択に苦勞されたと思う。「一泉」にもお一人だけ載せた。これからも機会を見て紹介したい。

ご寄稿をお待ちします。紙幅の都合がありますので、600字前後をお願いします。

次号の広告は泉丘高校9期・10期(各12万円)をお願いします。

『一泉』編集室

正村 健三(泉丘4期) 浅香以都子(泉丘10期)
小林 弘子(泉丘12期)
題字・坂野 雄一(一中54期)